

# 山田みやこの活動報告

令和3年7月31日(土)

## SDGs映画『プラスチックの海』上映会(オンライン)に参加

主催 宇都宮大学国際学部 環境と国際協力研究室(高橋若菜研究室)

映画『プラスチックの海』

「夕飯のおかずはビニール袋」  
「胃の中にプラスチックを抱えた生活」  
「消えることなく海底に溜まるペットボトル」

これらは全て海で起きている本当のことで、便利なプラスチックが生んだ代償。たくさんの海の生物の生命が奪われている。魚を通じて私たちも知らないうちに食べている。

2050年には海のプラスチックの量が魚の量を超える。2021年を生きる今、海の問題を黙認するのはやめよう。

“使い捨て”の海にしないために

このような内容で魚の胃の中にいっぱい詰まったプラスチックや、ロープが首に巻き付いたアザラシ。プラスチックを拾い生活の糧にするアジアに子どもたち。

この現状を改善するために私たちの今の生活を見直さなければならない。

映画鑑賞後は参加者でグループに分かれ、何が出来るかディスカッションを行った。

〈ディスカッションでの意見〉

- 便利で手軽な生活を追求してきた結果、このような現状になっている。プラスチックは確かに便利でなくてはならない存在だが工夫次第でもっと減らすこと、リサイクルすることができるはず。
- 食材ビンのリユース、シャンプーなどの容器の詰め替え利用、マイクロビーズの入っている化粧品やマイクロカプセル配合の合成洗剤を使わない、リサイクルできるマジック容器の使用、固型石けんですべてに使い回しをする等、シンプルな生活とり戻す身近な一人ひとり工夫を広めたい。

宇都宮大学による 2021年 オンラインSDGs映画上映会 第1弾

第1回 7月25日(日) 13:00-16:20  
第2回 7月31日(土) 13:00-16:20  
※両日とも同一の内容

『プラスチックの海』  
人類はコロナと戦い、海はプラスチックと戦おう。

海がプラスチックで溢れている。  
私たちに何ができるのだろうか。

A PLASTIC OCEAN  
WE NEED A WAVE OF CHANGE.  
プラスチックの海

PLASTIC OCEANS LIMITED  
in association with  
ACQUILA FOUNDATION / VENEZIA FOUNDATION  
A PLASTIC OCEAN  
Executive Producers: Denis Freeman, Daniel Norbertson  
Producers: Adam Lacey, Jo Rafter  
Directed by: Craig Lawson

主催：宇都宮大学国際学部 環境と国際協力研究室 UU3Sプロジェクト  
宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター  
協力：NPO法人うつつのみや環境行動フォーラム  
後援：NPO法人とちぎユースサポーターズネットワーク  
宇都宮市SDGs人づくりプラットフォーム  
備考：UU3Sプロジェクトは、栃木県大学地域連携事業の支援を受けています。

1 貧困 2 健康 3 気候変動 4 質の高い教育 5 性別平等 6 清潔な水と衛生 7 再生可能エネルギー 8 働きがいと経済成長 9 産業、イノベーション、基構 10 不平等の削減 11 持続可能な都市とコミュニティ 12 消費の持続可能性 13 気候変動 14 海の豊かさ 15 陸の豊かさ 16 平和と公正 17 パートナーシップ